

# 2014年度 第一回 漁業・おさかなセミナー

日時：2014年9月16日（火）13:30～16:30

会場：（公社）日本水産資源保護協会 会議室（東和明石ビル3F）

（東京都中央区明石町1-1 03-6680-4277 地下鉄「築地」より徒歩5分  
会場地図 <http://www.fish-jfrca.jp/06/map.html>）

## 浮魚資源の変動と規制改革の是非

——浮魚資源の変動と海洋環境の関係は？ IQ、ITQ 導入論と規制改革路線の弊害は？——

【趣旨】 本年3月に水産庁に設置された「資源管理のあり方検討会」は、7月1日に取りまとめを行い、スケトウダラや太平洋クロマグロ等の資源回復措置にふれつつ、譲渡性個別割当（ITQ）については、我が国への導入については時期尚早としたものの、個別割当（IQ）については、太平洋系群のマサバを対象に我が国におけるIQ方式導入のテストケースとして実施することとした。

このことと関連して、北部太平洋のまき網が利用する浮魚資源の変動が海洋環境の変化と大きく連動していることに関心をもつ茨城県水産試験場 回遊性資源部長 海老沢良忠氏に報告していただき、次に、上記の「資源管理のあり方検討会」に参考人として説明を求められた水産庁OBで現在三重県鳥羽市で沿岸漁業に従事している佐藤力生氏に、我が国漁業の特徴である「共同体による自主的資源管理」の世界的評価が高まっているにもかかわらず、それに逆行するようなIQ、ITQの導入が、なぜ今議論の対象になるのか等について報告していただいたのち、セミナー参加者全体で考えてみよう！

### 【 プ ロ グ ラ ム 】

コーディネーター：（一社）いわし普及協会 岡本 勝

開 会

報 告 13:30～15:30 （報告時間1人60分[質疑5～10分を含む]）

第1報告 「房総から三陸海域のまき網を中心とした浮魚資源の変動と海洋環境の関係」  
・・・・・・・・茨城県水産試験場 回遊性資源部長 海老沢良忠氏

第2報告 「理解に苦しむIQ、ITQの導入論と規制改革路線」  
・・・・・・・・三重県鳥羽市 沿岸漁業手伝い 佐藤力生氏

休 憩

総合討論 15:40～16:30 聴衆からの質疑、討論など

閉 会

入 場 無 料 ☆どなたでも参加できます

（会場に限りがありますので、参加希望を事前にFAX、メールでご連絡を！）。

連絡先：いわし普及協会 TEL03-3500-1291/FAX03-3500-1292 [iwasikyukai@bz01.plala.or.jp](mailto:iwasikyukai@bz01.plala.or.jp)

（一社）いわし普及協会・NPO水産資源回復管理支援会